

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.108 2003. 9

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

資源集団回収

● 教えて、聞かせて 買い物ゲートでゴミダイエット

P3

● みんなで選ぼう、市民投票！
サポーター募集・環境絵日記

P8



● ただいま子育て奮闘中！— P6

● 中田宏市長に会って、G30について提案しました— P7

資源集団回収

どんなふうに行われているの？

子ども会や自治会などの団体が紙類や缶類などの資源を回収して回収業者へ、という資源集団回収（※以下集団回収）は市内の各地域で行われています。みなさんのところではどうですか。この集団回収を通じて地域に向けて「紙類など資源となるものはごみに出さないで。資源として集団回収へ出しましょ」と呼びかけていくことで、資源化が進みリサイクルに関心を持つ人が増えることが期待されます。地域で集団回収を進めていくために、いまどんなふうに行われているのか見てみました。

どんなふうに行なわれているの？

集団回収に取り組んでいるのは、例えば自治会、PTA、子ども会、そして老人会、マンションの管理組合や保育園などのさまざまな地域の団体です。回収する資源の種類や回収日、回収場所などはそれぞれ団体が決めています。

回収する資源は、主に紙類、缶、びん、衣類など。回収日は、毎週のところもあれば、月1回、はたまた数カ月に1回というところもあります。回収場所は、例えば学区内に何10カ所か設けていて、場所はあるお宅の一角を借りたり、道路の片隅だったり。マンションでは日頃出しているごみの集積所が回収場所だったり。ある保育園では資源を保管

するための場所を確保して保護者と共に資源回収に取り組んでいるところもあります。最近建設された大規模なマンションでは資源別にボックスを常設しているところもあります。このように、色々な形で集団回収は行われています。

全国の自治体で、もちろん横浜市でも集団回収を奨励しています。市からは1キロの回収量に対し3円の奨励金が出ています。日頃の地道な回収によって貯まった奨励金はさまざまな地域の活動や地域づくりに活かされています。

あるPTAでは

都筑区のとある小学校では、以前は子供会が行っていましたが、7年前に子供会がなくなってからはPTAが主催しています。回収している資源は、新聞・雑誌(教科書等も含む)、衣類(夏物のみ)、雑紙・ダンボール。毎週土曜日に学区内

35カ所で回収しています。雨天の場合は中止。市からの奨励金は、年に1度の子ども祭りや、ラジオ体操の景品、子どもたちの安全を守るための腕章購入などに使われています。

回収場所は自宅から一番近い電柱 ～戸塚区の子供会～

なんと「自宅に一番近い電柱が回収場所」と聞いて早速取材に出かけました。取材当日は、ちょうど回収日。電柱の下には出ます、出ます新聞、雑誌、ダンボールなどなど。戸塚区前田町の子供会のみなさんから話を聞きました。

「古紙を持って遠くまで出しに行くのは重たくて大変なので、すぐ近くに出せるのはいいですね。子どもがいない世帯もちゃんと出しているようです。高齢者にとっても出しやすいと思いますよ」と役員さん。雨の日は、翌週へ延期。回収日の朝8時頃に回収を知らせるために回収業者のアナウンスカーが廻った後で資源を出すことになっているので、「今日は雨かな、回収に来て

くれるのかな」という心配もいりません。集団回収のPRは、年2回、3月と9月に回覧板で地域のみなさんへ協力を呼びかけています。前田町では「回収場所は自宅から一番近い電柱」というのがすっかり定着していて、地域の人たちの協力で毎回たくさんの資源が集まります。こうして得られた奨励金は、子供会のおみこしや夏祭り、上映会、町内会のレクリエーション大会などに役立てられています。

役員のお子さんが通う川上小学校ではリサイクル教室が開かれたりと広く地域でリサイクルに取り組んでいます。



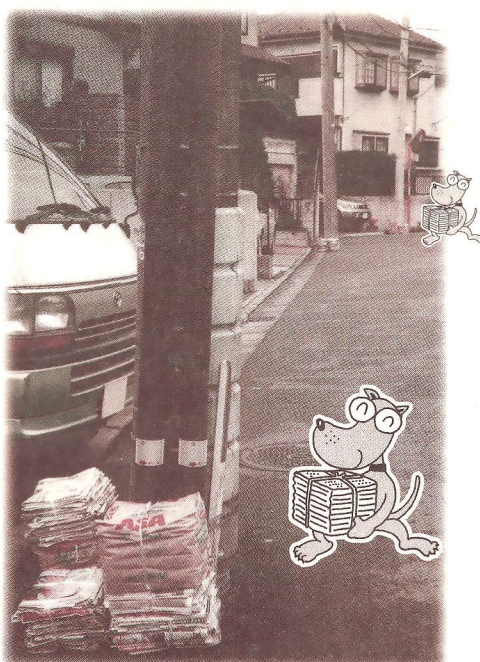
▲ 前田町子供会役員の皆さん、左から百塚さん、小長光さん、秋山さん

ドッグ・ポール回収方式

この「回収場所が自宅に一番近い電柱」という集団回収の方法は、ドッグ・ポール回収方式と呼ばれています。戸塚区内の多くの団体がこのやり方で集団回収に取り組んでいます。

「ドッグ・ポール」とは、犬が散歩する時に電柱を目印に立ち止まるポイントということ。つまり、犬が散歩する時の電柱を目印にエリア内を隈なく廻るというように、集団回収も電柱を目印に巡回し回収するということです。

実際にこのドッグ・ポール方式で回収した場合、一世帯あたりの紙類の回収量はそうでない世帯と比べると2倍を超える回収量となり、年間にすると一世帯で何と120キロもの差が出ます。資源を出しやすくすることで、回収量が増えることにつながるといえます。



▲ 電柱毎に置かれた資源

もっと集団回収を ーリサイクルでまちづくりー

市内で集団回収に取り組んでいるのは、平成14年度では3200団体、市内の85%の地域で行われています。

(※図参考)

集団回収は、より身近で、情報が届きやすく、参加しやすい、協力しやすいといえます。資源を出したり、逆に子ども会などの団体が集団回収を運営

する立場になることで、人任せにしないで「リサイクルは自分たちのこと」と自覚しやすいということもあります。例えば地域でリサイクルに関するイベントをしたり、お年寄と子どもたちが知り合ったり、集団回収に参加するきっかけになりこれは一つのまちづくりということにもなります。

新たにはじめよう

まだ集団回収が行われていないところでは、新たにはじめてみるというのはどうでしょうか。

資源がどれだけ出ているのか見てみよう

すでにやっているところでは、どれだけ資源が出ているのか、一度みてみるのもよいでしょう。その量によっては、回収場所果たして出しやすいのかどうか検討も必要かも。

回収回数は

例えば月1回やそれ以下の回収では雑紙やダンボールなど家庭ではたまり過ぎてかさばり保管が大変です。古紙は少しずつごみに出しやすいので、回収する回数は毎週、隔週など回数が多い方が資源としてより出しやすくなるでしょう。

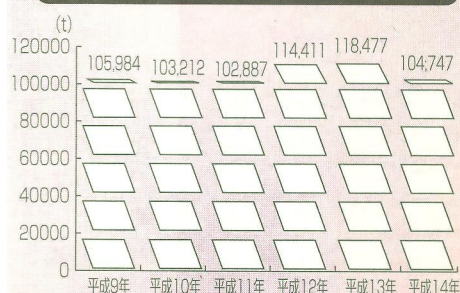
こうして集団回収を見直してみることで、資源化が進んでいくことになるのではないのでしょうか。

図

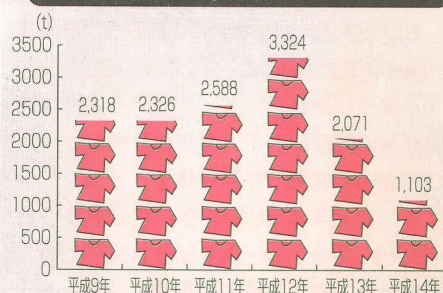
横浜市資源集団回収実施団体回収実績



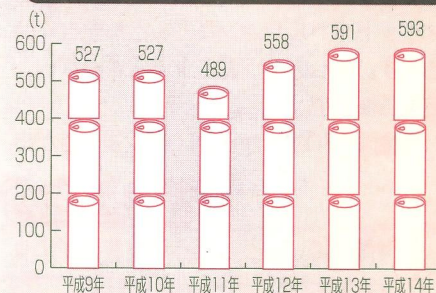
古紙



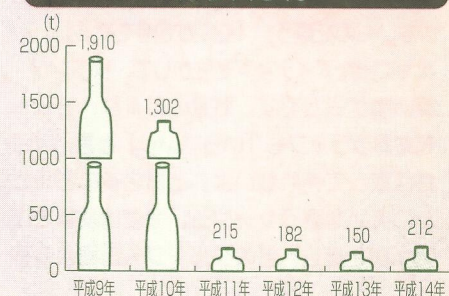
布類



金属類



ガラスびん





教えて、間かせて

横浜市立港南台第二小学校 4年1組

(担任・石井敦子先生、児童33名)

買い物ゲームで、ごみダイエットに目覚めたノダ!

全国には当組合以外にも、リサイクルや環境をテーマに活動する様々な団体があります。そのひとつ、沖縄県那覇市にある「沖縄リサイクル運動市民の会」は、物を大切に使うことから心の豊かさを取りもどそうと、今から20年前にできました。その会が考え出した買い物ゲームは、「ごみ減量を考えた買い物」について楽しみながら学べる実践的な教材です。総合学習でこれを利用した授業をするクラスがあると聞き、さっそくおじゃましてみました。

お買い物ぞっとじゃないの?

授業は6月27日の4、5時間目。実はその前々日に、出前講師によるリサイクル教室が4年生3クラス(99名)に向けて行われたばかりで

した。その際、リサイクルのイロハをかじり、また国語の『ツバメのすむ町』で、ツバメの減ったのは、ご

みが増えそれをえさにするカラス(ツバメの天敵)も増えたから、ということも知った子どもたちです。どんな結果になるでしょうか。

まずは、買い物ゲームの説明です。6つのグループに別れ、先生から1500ポンという特別な単位の紙のお金を受け取り5人分のカレーの材料を買ってきます。教材は、紙や使用済みの食品トレー、ラップなどを利用した手作り品。肉と魚介類はトレー入りと計り売りがあり、野菜はそれに加えネット入りもあります。飲み物はカン、ペットボトル、紙パックの3種類。そしてカレー

ウ。決められた量の材料を予算内で買い、おつりを残さなくてははいけません。制限時間は10分。さて、値札のほかに、とっても目立たないように数字を書いた小さな白いシールが貼ってあるのがミソなのですが、その意味に気づいた子はいるでしょうか。お買い物ごっこの気分なのか、何やらみんなそわそわ浮き足立っています。先生の合図で、さあ、スタート!

処分費? そんなの聞いてないよ

カゴを手にも、いっせいに店にむかいます。「肉よりエビがいいよ」「でも少し高いかも」「ホタテが欲しい!」。どうやら品物自体の好みに気がいって、計り売りやトレー入りの違いには気づかない様子。「ニンジンバラだと1本60円だから、2本買くと120円。でもトレー入りだと100円で買えるね」と、考える子もいます。「ネット入りもあるけど」と言いつつ、なじみがあるのでしょうか、トレーを選んだり。飲み物はペットボトルやカンがどんどん売れていきます。あっという間にタイムオーバー。結果発表です。

残金は470ポンから710ポンまで差が出

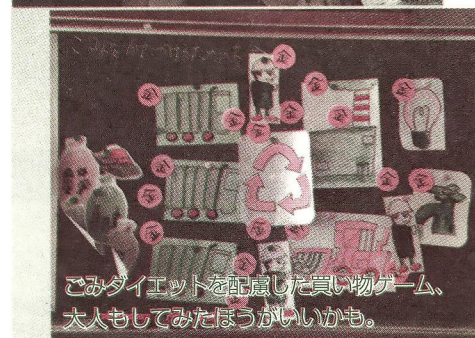
ました。先生が「では、そこから処分費を引いてください」と言うと、「えーっ、何それ」とみんな大騒ぎ。リサイクル講座の内容を振り返りつつ、ごみの処理にはたくさんのお金がかかることを確認しました。ごみの数を数え、小さいシールの数字(処理費)を合計して残金から引くと、だいぶ少なくなっていました。がっかりする一同。特に一番処理費が高かったグループの男の子は「何がいけなかったんだろう」と、店を回りながら首をひねるばかり。「早く給食にしまさーい!」という先生の声もなかなか届かないほどの反省ぶりでした。

反省を生かしてリベンジ

5時間目は、どうしたらごみをダイエットできるか考えることから始まりました。「ビニール袋をもらわず布の袋を持って行く」「野菜はバラで買ったほうがいい」「処理費の少ないものを買う」「むだな包装を断る」……。次々に出たアイディアを生かして、リベンジ・買い物ゲームです。熱意のあまり、トレーをおおうラップも「いらないっ」と言い「これは取って売れないよ」とお店役のお母さんの笑いを誘うシーンも。今度は反省と工夫が功を奏し、どのグループも前回より良

い結果になりました。

2回のチャレンジは、子どもたちにどんな感想をもたらしたでしょうか。「トレーがどうしてもごみになっちゃう」「箱なんてただの宣伝みたいなものだから、なくていいじゃん」「でも、中辛とか甘口とかかわからないと困る」「それは中のプラスチックに書けばいい」。「二重にする必要はないってことね」と先生。すると「でも、箱はたぶんリサイクルできると思う」と女の子。子どもの学びがっつてすごい。



先生いわく「これはまだほんのきっかけ、入り口です。社会科での調べ学習や国語で読んだ本の知識、いろんな経験を総合して、自分たちの暮らしを考える入り口に立ったところなんです。だんだんと発展させていきたいですね」とのこと。追って、2組と3組もチャレンジするそうです。

注: 買い物ゲームの詳細は、ゲーム参考キットを収めたCD-ROM付き『ECO・エコ買い物ゲーム ごみを減らす体験学習プログラム』(合同出版 沖縄リサイクル運動市民の会事務局長・福岡智子ほか編著)をご覧ください。

夏のワークファッション提案会 ～「今年の夏からライフスタイルを 見直そう」運動を応援します～

7月25日(金)12:30より、桜木町ランドマークタワー3階にある、オフィスロビーに於いて、「トークショー」とファッションショーが開催されました。これは、横浜市と神奈川県で推進している「今年の夏からライフスタイルを見直そう」運動の一環として、冷房温度の28℃設定、軽装での執務を実践しています。この取り組みを定着させ、横浜から全国への波及を目的として、社団法人横浜ファッション協会の主催で開いたものです。

第1部 トークショー 「夏を夏らしく過ごす暮らしについて」

ガラスに囲まれ、外の陽ざしが明るくふりそそぐオフィスロビーには、大勢の市民が参加し、熱気にあふれていました。トークショーはゲストに浅井慎平さん(写真家)、五代路子さん(女優)、中田宏横浜市長、原範行

さん(横浜ファッション協会会長)、松沢成文神奈川県知事を迎え、フリーアナウンサーの酒井ゆきえさんの司会で始まりました。

まずは、ネクタイの話から、浅井さんからは「ネクタイをするようになった背景にある歴史を知る事も大事。軽装も基本をアレンジする、約束ごとをふまえた上での提案が大切。」中田市長から「四季のある日本の季節を感じ取り、暮らしに工夫をして生活の中に涼しさを取り入れよう。ノーネクタイは環境にやさしい省エネ活動です。」と発言があると「ネクタイは男社会の弊害。クーラーを使うと

女性はからだ冷えて困ります。」と紅一点の五代さん。松沢知事からは「会議のときはノーネクタイが定着してきているが、表彰式等で、表彰を受ける人たちが正装してきているのにノーネクタイでは悪いような気がする。半袖、開襟の正装服を作ったらどうだろうか。」という提案もありました。最後に司会の酒井さんが「様々な提案がありましたが、ノーネクタイをリーダーの方たちが身をもって体現しましょう。」と結びました。



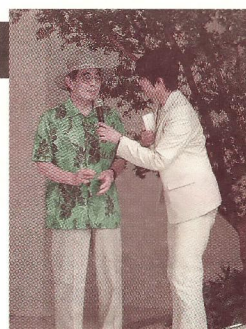
左から 松沢知事、浅井さん、五代さん、中田市長、原さん、酒井さん

第2部 夏のワークファッションショー

ファッションショーでは、横浜市内の企業から提案のあった洋服を紹介、トークショーの出演者同様、経済・スポーツ・芸術文化などの分野で活躍している方々がモデルとなり、素材や襟、袖口などに涼しい工夫をこらしたデザインの服が紹介されました。なかでも一番大きな拍手を得たのは、男性モデルの持っていた布製のポーチがあっという間に、上着になったときでした。とても軽くシワにならない素材で作った、折りたたむとポーチの大きさにまで小さくなる上着でした。「女性用の折りたたみ上着をぜひ作ってほしい」と要望の声もあがり、これをきっかけに横浜から新しいファッションがうまれる期待が高まりました。

モデル出演者

奥寺康彦(横浜FC ゼネラルマネージャー)
現田茂夫(〈財〉神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 常任指揮者)
酒井ゆきえ(フリーアナウンサー)
柳原良平(画家)
高梨昌芳(横浜商工会議所 会頭)
後藤元信(〈社〉横浜青年会議所 理事長)
石井直樹(〈社〉横浜青年会議所 副理事長)
菊嶋秀雄(〈社〉横浜青年会議所 専務理事)
藤巻幸夫(〈株〉キタムラ専務取締役)
山口 宏(〈株〉共栄社代表取締役)
大岡勇司(横浜港ポートガイド)
福部重人(横浜ポートガイド)
渡辺真帆(横浜観光親善大使)
森本有美(横浜観光親善大使)
原 範行(〈社〉横浜ファッション協会 会長)
順不同・敬称略



港ヨコハマをおもわせるブルーのアロハシャツがよく似合う柳原良平さん



モデルは今回で3回目という奥寺康彦さん



勢ぞろいしたモデルのみなさん

よこはま白書

冊子

「ごみの分別品目一覧表」

～モデル地区用～

ができました。

「横浜G30プラン」は推進体制が着々と整い、分別収集品目拡大のモデル地区用のパンフレットができあがりました。このパンフレットは各区ごとに決定されたモデル地区の各世帯に配付されます。

この冊子では、ごみの分別区分・品目が増えたこと（5分別7品目→10分別15品目）の説明とごみの出し方ルール（①プラスチック製容器包装 ②古紙 ③古布 ④スプレー缶 ⑤燃えないごみ ⑥家庭ごみく燃やすごみ ⑦缶・びん・ペットボトル ⑧小さな金属類 ⑨使用済み乾電池 ⑩粗大ごみ）そして分別品目を一覧表（50音順）にして紹介しています。

ごみの分別品目一覧表

一覧表の見方

- 品目名は50音順になっていますが、検索しやすくするために頭文字でないものもあります。（例：紙皿はさ行の皿の欄にあります）
- 目安として木製品やプラスチック製品などは50cm以上、金属製品は30cm以上のものは、粗大ごみになります。
- 分別区分の注意事項：「小型」とはおおむね木製品やプラスチック製品などは50cm未満、金属製品は30cm未満のものをさ

品目名	出し方	出し方のポイント
アイスピック	小さな金属類	尖った部分は新聞紙等で包む
アイロン(プラスチック製)	家庭ごみ	
アイロン(金属製)	小さな金属類	
油紙	家庭ごみ	16ページ メモ②参照
雨合羽	家庭ごみ	
編み機	粗大ごみ	
アルバム	家庭ごみ	
アルミはく、アルミホイール	家庭ごみ	
アルミ缶(飲料用・食品用)	缶・びん・ペットボトル	飲・食料用以外は小さな
衣装ケース	粗大ごみ	小型のものは家庭ごみ
いす・座いす・応接いす(ソファ)	粗大ごみ	
一升びん	販売店が資源回収ボックス	
一升びんのフタ(上が金属、下がプラスチック製)	プラスチック製容器包装	分離可能であれば分け金属部分は小さな金属類
一斗缶	小さな金属類	30cmを超える場合は粗大ごみ
衣類乾燥機	粗大ごみ	
印鑑	家庭ごみ	
飲料パック	古紙(紙パック)	切って広げる 中がアルミのものは家庭ごみ
植木鉢(素焼き、陶器製)	燃えないごみ	新聞紙等に包み品名を表示する
植木鉢(プラスチック製)	家庭ごみ	
腕時計(ベルトが金属)	小さな金属類	
腕時計(ベルトが革)	家庭ごみ	



横浜市環境事業局

※注 この冊子はモデル地区用のものですので、モデル地区以外の地域の方には配付されません。

○リサイクル掲示板○

センターリサイクル

●9月6日(土)

・センターリサイクルinせや

瀬谷区 ニツ橋公園

時間：午前9:00～12:00

※雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所

TEL 364-0561

●9月7日(日)

・青葉区センターリサイクル

環境事業局青葉事務所駐駐車場

時間：午前9:30～12:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、雑紙、段ボール、牛乳パック、繊維類、小物金属、リターナブルビールびん

問い合わせ

環境事業局青葉事務所

TEL 975-0025

●9月7日(日)

・泉区センターリサイクル

環境事業局泉事務所構内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、

古着、古布、毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所

TEL 803-5191

●9月14日(日)

・かながわセンターリサイクル

神奈川区 反町公園

(神奈川区役所側)

時間：午前10:00～午後1:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ

TEL 413-3196

●9月21日(日)

・旭区センターリサイクル

環境事業局旭工場内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所

TEL 953-4811

鶴田 由紀

プロフィール

● 鶴田由紀 訳書（共訳）に『生物多様性の危機』（ヴァンダナ・シヴァ著 ミー・書房）。「ただいま〜」は環境配慮の視点から子供と育児を取り巻く状況を考える隔月連載エッセイ。

抗生物質に 気をつけろ！

初めての中耳炎

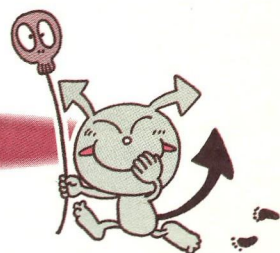
申し遅れましたが、うちの息子はこの春から幼稚園に通っています。まだ3歳なので、いろいろ心配でしたが、案の定、入園早々から病気続きでした。

4月中旬から鼻を垂らし始め、GWには高熱を出し、5月には生まれて初めて中耳炎になりました。急に「耳が痛いよー」と泣きだし、親は大慌て。とりあえず近くの耳鼻科に行くと、酷い中耳炎で蓄膿症にもなっているとさんざん脅かされ、抗生物質を処方されました。

「薬でしっかり治さないと大変なことになるゾ」という医師の言葉を真に受けた私は一生懸命薬を飲ませましたが、どうも経過が思わしくない。医師はあ

と一週間くらいで治るとか言いながら、最近では中耳炎に抗生物質が効きにくくなっているなどと今さら言い出す始末。そうこうするうちに、今度はじんましんまで出て、もうすっかり途方に暮れてしまいました。

そんな時、知人から抗生物質を使わない鶴見区の耳鼻科を教えられ、なかばヤケクソで幼稚園をサボらせ、横浜に長期帰省しました。



耐性菌が増えている

その耳鼻科で聞いた話は驚くべきものでした。ここ数年、ものすごい率で子どもに耐性菌（抗生物質が効かない菌）が見つかっているというのです。長年、中耳炎には抗生物質を出してきたが、効きが大変悪くなってきた。今年に入ってから一回も出していないが、それで治っているということでした。

抗生物質の濫用によって耐性菌が増加し、ニュースで時々耳にするようなMRSAなんていう菌も、幼稚園児などの体内にちらほら見つかるそうです。日本は抗生物質を使いすぎで、薬だけでなく家畜のエサにもドサドサ入っているの、私たちは絶えず耐性菌の脅威にさらされていると言えそうです。

北欧やオーストラリアでは耐性菌を抑えることに成功しています。抗生物質に関するマニュアルがあったり、国を挙げて耐性菌撲滅に取り組んでいます。日本も早く手を打たないと、それこそ大変なことになるでしょう。

急性中耳炎の8割は自然に治るそうです。息子の耳も、結局は薬を飲ませないで治りました。抗生物質がすべて悪いということではなく、抗生物質がないと死に至るような病気にこそ効果を発揮してもらうために、濫用してはいけないのだと、一人でも多くの人に知ってほしいと思います。

（参考文献 寺澤政彦『抗生物質で子どもの病気が治せない』リヨン社）

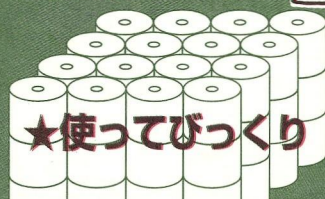


びっくり その1

リサイクルボーイ・トイレットペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

トイレットペーパーは再生紙があたりまえ。だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレットペーパー



★使ってびっくり

びっくり その2

手にするとずっしり重い。それもそのはず、ふつうのトイレットペーパー（シングルで60m）の2倍以上の長さ（130m）です。「使っても使ってもなくならないんですね」との声も寄せられるほど（もちろんいつかはなくなるけど）。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。バージンパルプのティッシュよりお肌にやさしい！愛用者の某リサイクルデザインの関係者がいわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレットペーパーだと大丈夫なの」（実話です）。

注文受付は1ケース（48コ入=6コ入りパック×8）より1ケース 3,360円（配送料込み）

※消費税・振込料はおお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得！

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050

シングル芯なし130メートル1パック（6ロール）あたり価格420円

中田宏市長に会って、 G30について提案しました

同窓会の宿題の
約束、
はたしたよ！

リサイクルデザイン
106号（2003年
7月号）掲載の環境絵
日記特別賞受賞者同窓
会の記事を読んでいた
すか。あの時出席した
子どもたち8人が、そ
のときに約束した宿題
「G30についての市長
さんへの手紙」を携え
て、7月24日（木）横
浜市庁舎に中田市長を
訪ねました。



子どもたちの提案や実践に 大きくうなずく市長さん

中田市長が「おはようございます」と部屋に入ってくると、席について待っていた子どもたちの表情がすこし堅くなりました。リサイクルデザインフォーラム実行委員長の栗原清剛さんから環境絵日記について、昨年の日韓合同子ども会議の事、市内の小学校352校中286校の参加があり、3年間で約4000名の子どもたちが応募に参加したことなどの説明があり、次は子どもたちから「G30について」の感想や提案の番です。

「ペットボトルや紙パックより何回も洗って使えるびんのほうが環境に良いと教わり、お父さんのビールと僕の牛乳をびんのものに変えた。」（唐木田望都さん-三ツ沢小5年-）「紙ごみの問題は、水に溶けて水を汚さない、肥

料にもなるようなごみにならない紙の作り方を発明すれば解決できるのでは。」（岸彩加さん-原小4年-）「リサイクルのことを考えている良いお店を選んで利用する。」（井上安藝さん-磯子小5年-）「ごみの出し方をもっと細かく分別すれば、再利用できるものが多くなる。」

（南口綾香さん-岩崎中1年-）等の実践や提案があり、太田淳平さん（本町小5年）は「物を大切に使うことはごみを減らすことにつながる。」と兄弟で同じカバンを大切に使っていることを話

しました。

長澤舞果さん（新吉田小6年）からは、デパートの包装のムダの指摘と「ごみ置き場にはもっと分かりやすい分別のポスターが必要だ」という具体的な提案があり、昨年の環境絵日記で横浜市長賞になったが、表彰式の時中田市長に会えなくて残念だったこと、そして絵日記に応募したことがきっかけで、生活のなかのごみについて考えるようになったと話す成田瑛莉奈さん（東希望ヶ丘6年）には、市長も思わず「行けなくてごめんね」という場面も。



「ごみ問題はすべてに つながるたいせつなこと」

市長は、子どもたちの話に大きくうなずいたり、感心して聞いていましたが、北見真生さん（金沢小5年）が「環境絵日記の同窓会で、横浜のごみが1年間でランドマークタワー12杯分もあると聞き、ビックリした。私には何ができるだろうと考え、レジ袋を断わり、買い物袋を持っていっている。小さな努力でも一人一人が実行すればごみを減らせる。

私はこのことをみんなに知らせようと思う。大人の人にはこんな大切なことを後回しにしている。」と話すと、「ほんとうにそうなんだ。一人一人が、真剣に考えればすぐできることなんだ。ごみ問題は、全てにつながることで、ごみを減らそうとすれば食べ物を残さないようにし、物を大切にする気持ちになり、それは命を大事にすることにもつながる。身近な環境問題は地球環境にまでつながるんだ。今日はほんとうにありがとう。」と子どもたち全員と握手をしながら語り、小さな市民の協力で大きな力を得たようにした。



みんなで選ぼう、市民投票！ 環境絵日記展覧会

日時 9月14日(日) 15日(月)
10:00~16:00

場所 新都市プラザ(横浜そごう地下2F)

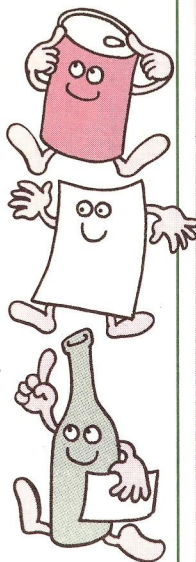


今年のリサイクルデザインフォーラムは、10月19日(於：はまぎんホール)に開催されます。すでに環境絵日記もテーマ「わたしたちのG30行動宣言」「我が家のG30自慢」に沿った作品がどんどん応募されています。

月刊リサイクルデザイン104号では、環境絵日記市民審査を募集しました。その市民審査員の方々による、一次審査が9月13日に行われます。そして一次審査で選ばれた絵日記約300点を、9月14日・15日の2日間、横浜そごう地下2階の入口前にある「新都市ホール」に展示します。展示された絵日記を展覧会に来たみなさんに投票していただき、得票の多い作品を「市民審査員賞」として、表彰することになりました。

みなさんもぜひ、展覧会場に足をはこんで、市民投票に参加して下さい。

※10月19日のフォーラム当日には、今までの環境絵日記受賞者の作品も展示します。また、今月号P7掲載の市長訪問の詳しい報告もします。



リサイクルデザインサポーター 協力会員募集！

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(通称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料でお送りいたします。

●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ
1.ご住所 2.お名前 3.電話番号 4.「リサイクルデザインサポーター申込希望」とご明記下さい。折り返し申込書をお送りいたします。

●資料請求先

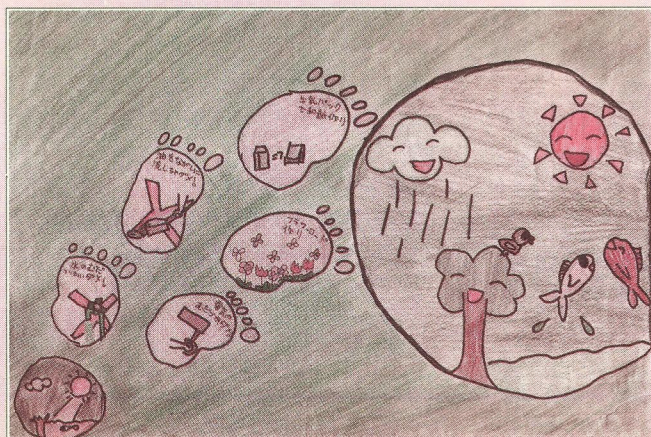
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045-316-4050 / FAX 045-316-6050
Eメール mail@recycledesign.or.jp

●参加資格・条件

1. 横浜市内にお住まいの個人および団体(資源集団回収実施団体・市民団体など)の方
2. 私たちの活動をご理解、ご支援していただける方
3. ご本人の入会意思と、正組合員の推薦
4. 脱退は原則自由です
5. 入会金や年会費はありません

環境絵日記

2002年第8回リサイクルデザインフォーラムの環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン誌上でご紹介していきます。



永野小学校 5年 横川友里奈
8月13日 火曜日 天気 晴れ
私は自然が大好きです。自然は私たち人間のためにとても重要な事をしてくれています。それなのに人間は便利になくらしのために自然を壊しています。クーラーや冷蔵庫やスプレーなどおそろそろ壊れていく物やガスなど地球温暖化の原因物、はい水で海がよこれ、有害な赤しおが出るなどこんなにもたくさん地球は壊れていきました。そんな地球の温暖化をふせぐために、木を守りたいです。木を減らして一番の原因は紙のむだ使いだと思います。今は、学級で牛乳パック、古紙、竹、ケナフから作る和紙について計画しています。他の学級では、種から花を育ててフラワーロード作りの計画もあります。それから一人一人が節水、節電、油をふきとり洗うなどを心がける。これらの小さな活動を地球人みんなで実行すれば昔のような新品でピカピカ地球になっていると思います。どんなに小さな一歩でもみんなが協力しあえば美しい未来の地球が待っています。

牛乳パックから生まれた紙ひも



こむすび
山結くん

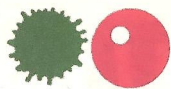
で
古紙をしばればまるごとリサイクル



1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

小結くん販売場所 ●横浜市金沢区・緑区・中区・都筑区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすすきや(戸塚区) ●エコロジーショップエッセンス(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生麦4-10-17)
販売して下さるお店募集中！



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2003年7月現在
日経7/31

品名	買入価格 1キロ当たり	業者の売値 1キロ当たり
新聞	*** 0円	5~6.5円
雑誌	** 0円	2.5~3円
段ボール	** 0円	3~3.5円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

「リサイクル教室」 出前講師を派遣します

リサイクル組合の組合員が、学校でリサイクルの話をする「出前講師」になったきっかけは、ある生徒さんがリサイクルデザインに載った、ある組合員の記事を読んで、「この人の話が聞きたい」と先生に希望したことから始まっています。リサイクル組合では、地域や学校などのご要望に応じ、出前講師を派遣します。ご希望の方はぜひご相談ください。

問合せ TEL 045-316-4050
出前講師派遣状況

日時	学校名	対象
5/16	都筑区中川小学校	4年生
5/30	神奈川区磯子小学校(磯子校区)	4年生
6/25	南区秋桜の会 港南区港南第二小学校	4年生
7/02	神奈川区菅田小学校	4年生
7/10	港南区相武山小学校	4年生

リサイクルデザインのビデオ 「未来を生み出すリサイクル」



このビデオは、暮らしの中から出る資源物(古紙・空き缶等)がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等に活用ください。

●ビデオテープ貸し出し、ご購入の
お問い合わせは下記まで。
横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045-316-4050
FAX 045-316-6050

最近「ライフスタイルを見直そう」という言葉をよく耳にします。過日発行の本誌100号でも「リサイクルの今と昔」を特集し、作るにあたってのコンセプトは昔の生活を知ってライフスタイルを見直そうでした。そこで私も、財団法人省エネルギーセンターのホームページをみて、スマートライフ度チェック25なるものがあったので、どれどれ私の省エネ度はどんなものかなんて軽い気持ちでやってみたら結果は皆さんの48点(泣)。省エネしているつもりがまだまだ甘かったということに改めて気付きました。みなさんも一度お試しあれ。このホームページをみて省エネ頑張ろうっと。

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

● マリンスポーツデスク・リップル(鶴見カミン5F) ● グリーンバザール(南区六ツ川) ● ブックショップふれあい戸塚店(ダイエー横)・大船店 ● 地酒 篠原屋(港北区篠原) ● エコロジーショップエッセンス(中区麦町) ● 神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ● 安田火災海上保険横浜支店 ● 東京ガス環境エネルギー館 ● マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ● 相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大田店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ● マイカル天王町サティ店 ● ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ● 自然彩食(名古屋) ● まじょらむ(港北区綱島) ● オーガニックスペースかれん(港北区大倉山) ● カフェ社(港北区日吉) ● きまき舎(緑区霧が丘) ● うどんカフェ(青葉区こどもの国) ● 横浜国際ホテル(西区南幸) ● さくら歯科クリニック(オーケー港北ニュータウン店2F) ● リサイクルショップ「トロワの森」 ● 横浜国立大学生生活協同組合大学館店・工学部店 ● 神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町)

月刊 リサイクルデザイン No.108

発行日: 2003年8月25日

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

発行人: 秋元康男

〒220-0005

編集人: 工藤健一

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

制作: (企)エコ・アド

印刷: オリジナルプランニング

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

